

グローバル全生物ゲノム株式ファンド(1年決算型)

**モデル・ポートフォリオ構成上位銘柄の
株価の下落と今後の見通しについて**

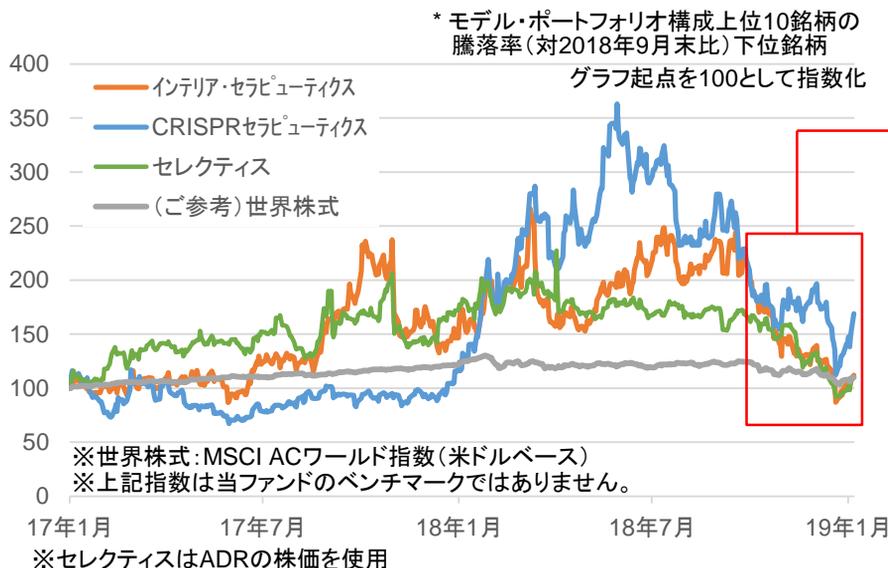


2018年10月以降、世界的に株価が下落するなか、当ファンドのモデル・ポートフォリオ構成上位銘柄についても、ゲノム編集(ヒト)技術・ライセンスを保有する銘柄などを中心に株価が下落基調となりました。

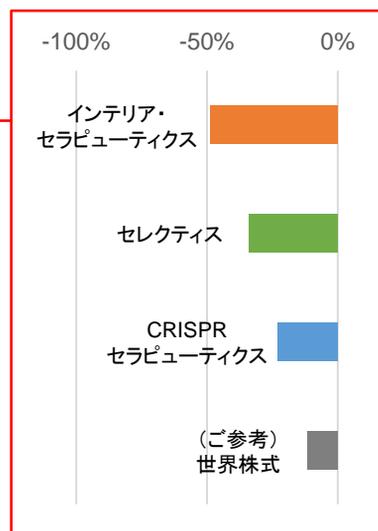
本資料では、こうした銘柄の足元の株価下落要因に加え、今後の見通しについて、当ファンドのマネージャーの運用に助言を行なうアーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー(アーク社)からのコメントをもとにお伝えします。

モデル・ポートフォリオ構成上位銘柄の株価推移と騰落率について

＜騰落率下位3銘柄*の株価推移(米ドルベース)＞
(2017年1月初～2019年1月7日)



＜各銘柄の株価騰落率＞
(2018年9月末～2019年1月7日)



信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

当資料に記載しているモデル・ポートフォリオとは、投資者の皆様にご理解を深めていただくために掲載したものであり、実在するポートフォリオではありません。従って実際の当ファンドへの組入れを示唆するものでも、将来の運用成果などを保証するものでもありません。運用開始後の状況については、マンスリーレポートなどでご確認ください。
上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

足元の株価の下落要因について

■ 世界経済の先行き懸念などから、世界的に株価が調整

- 米国の金利上昇や住宅指標の低迷に加え、米中貿易摩擦などを背景とする世界経済の先行き懸念などにより、10月以降、世界の株式市場は下落基調となりました。
- こうしたことに加え、米国の利上げやねじれ議会などによる政策・人事面における混乱などもあり、株価は下げ足を速めました。

■ ゲノム編集された世界初の受精卵誕生報道を受けた規制強化などを嫌気

- 11月末、中国の研究者がゲノム編集技術を世界で初めてヒトの受精卵に応用し、双子の女児が誕生したと主張したことを受け、一時は米株式市場で、ゲノム編集技術・ライセンスを保有する銘柄などを中心に、株価が上昇しました。
- しかし、報道の信憑性や生命倫理への懸念が高まったことや、NIH(米国立衛生研究所)がゲノム編集技術を使った臨床試験の承認プロセスを追加したことなどが、ゲノム技術への規制強化と受けとめられ、ゲノム関連銘柄の株価は大きく下落しました。

アーク社の視点

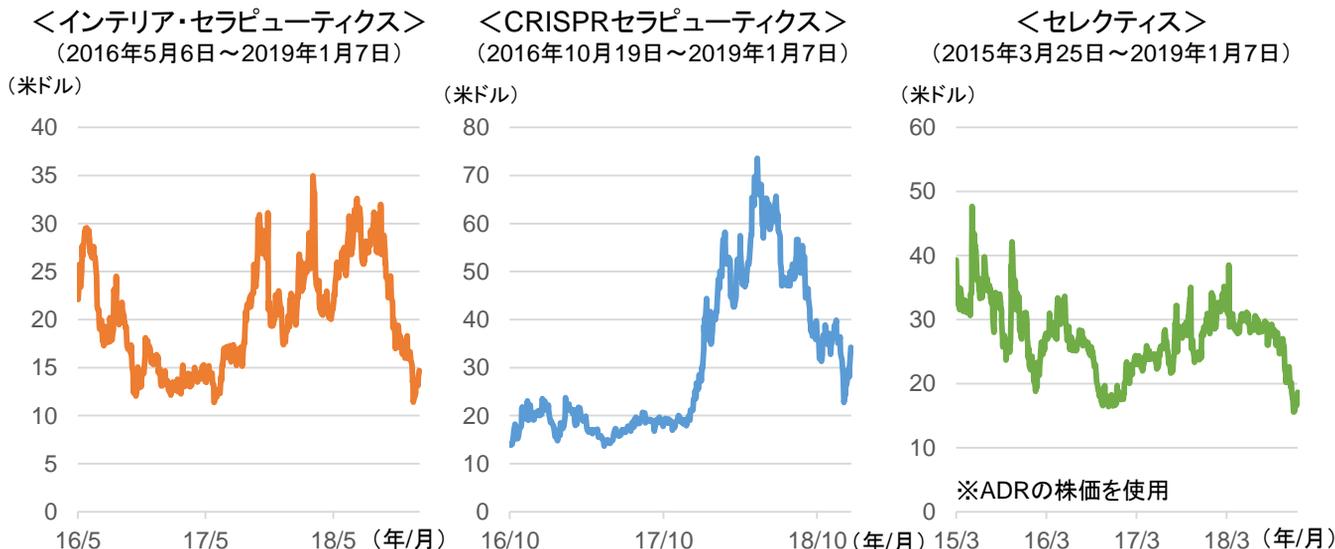
今後の見通しについて

■ 相場の調整局面を経て、革新的な企業については反発が期待される

- 米中貿易摩擦に改善の兆しが見られないことや米国の税制改革効果の剥落、米国政治を巡る混乱など、先行きに不透明感がみられるものの、米国では底堅い雇用統計や個人消費の拡大などから、引き続き、**堅調な経済成長が期待されます**。
- 米国では、もともと生殖細胞へのゲノム編集技術を使った臨床試験は禁止されています。また、NIHは、希少疾患の治療などにおけるゲノム編集技術の重要性について報告書に掲載するなど、その重要性を認識しており、**研究の進展を阻害するような考えはないとみられます**。そのため、今回のNIHによる承認プロセスの追加は、「ゲノム編集された双子」誕生報道に対する、医療界などが抱く懸念への対応の意味合いが強いと考えられます。
- そのため、NIHによる承認プロセス追加により、承認まで3~6ヵ月程度、審査時間が加算されるとみられるものの、これによって、**ゲノム関連企業の事業に大きな影響が出るとは考えていません**。
- 株式市場の調整局面においては、大きな経済の流れや市場のセンチメントにより、高い企業収益や利益成長が期待される革新的な企業であっても、大きく売られる傾向があると考えています。こうした銘柄は、**市場が落ち着いた際に反発することが期待され**、今回のような調整局面は、こうした革新的な企業へ割安に投資する機会であると考えられます。

上記は、「グローバル全生物ゲノム株式ファンド(1年決算型)」のマザーファンドに助言を行なっているアーク社のコメントをもとに日興アセットマネジメントが作成したものです。当情報は、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の方の見方あるいは考え方等を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

【ご参考】当資料で掲載した銘柄の上場来の株価推移



モデル・ポートフォリオ(2018年11月20日時点)の構成上位銘柄

(銘柄数:56銘柄)

順位	銘柄名	国	主なゲノム分類	業種	時価総額		
					規模**	組入比率	騰落率***
1	イルミナ	米国	ゲノム関連ハードウェア*	医薬品・ バイオテクノロジー・ ライフサイエンス	大型株	9.0%	-16.1%
2	インビテ	米国	ゲノム診断		小型株	4.0%	-18.7%
3	インテリア・セラピューティクス	米国	ゲノム編集 (ヒト)		小型株	4.0%	-48.6%
4	エディタス・メディシン	米国	ゲノム編集 (ヒト)		小型株	3.2%	-21.7%
5	メディデータ・ソリューションズ	米国	バイオインフォマティクス等	ヘルスケア機器・サービス	中型株	3.2%	-12.1%
6	セルジーン	米国	ゲノム編集 (ヒト)	医薬品・ バイオテクノロジー・ ライフサイエンス	大型株	3.0%	-2.2%
7	ナノストリング・テクノロジーズ	米国	ゲノム関連ハードウェア*		小型株	3.0%	1.7%
8	CRISPRセラピューティクス	スイス	ゲノム編集 (ヒト)		小型株	3.0%	-22.8%
9	セレクトイス	フランス	ゲノム編集 (ヒト)		小型株	3.0%	-33.9%
10	ブルーバード・バイオ	米国	ゲノム編集 (ヒト)		中型株	2.8%	-22.2%

* ゲノム関連ハードウェア(解析・検査機器等)

** 小型株:20億米ドル未満、中型株:20億米ドル以上100億米ドル未満、大型株:100億米ドル以上500億米ドル未満、超大型株:500億米ドル以上

*** 2018年9月末～2019年1月7日

※比率は組入株式の時価総額比です。

※「ゲノム分類」はアーク社が考える分類です。

※業種名はGICS(世界産業分類基準)に基づきます。

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

当資料に記載しているモデル・ポートフォリオとは、投資者の皆様にご理解いただくために掲載したものであり、実在するポートフォリオではありません。従って実際の当ファンドへの組入れを示唆するものでも、将来の運用成果などを保証するものでもありません。運用開始後の状況については、マンスリーレポートなどをご確認ください。
上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様にご「グローバル全生物ゲノム株式ファンド(1年決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

- 1 主に、世界の株式の中から、ゲノム関連ビジネスを行なう企業およびゲノム技術の恩恵を受ける企業の株式*に投資を行ないます。
* 預託証券を含みます。
- 2 個別銘柄の選定において、アーク社の調査力を活用します。
- 3 年1回、決算を行ないます。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申し込み に際しての留意事項

■リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 当ファンドは、金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第5条の規定により有価証券届出書を2018年12月14日に関東財務局長に提出しており、2018年12月30日よりその効力が発生します。なお、効力発生前に記載内容の訂正が行なわれる場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申し込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	【当初申込期間】1口＝1円 【継続申込期間】購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入の申込期間	【当初申込期間】2019年1月4日から2019年1月15日まで ※当初申込期間以降もお申込みいただけます。
信託期間	2028年12月7日まで(2019年1月16日設定)
決算日	毎年12月7日(休業日の場合は翌営業日)
購入・換金 申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時の基準価額に対し3.24%(税抜3%)以内 ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.7712%(税抜1.64%)
その他の 費用・手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額</u> が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※ 運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

※ 投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アメリカズ・インク
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
大和証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

(50音順、資料作成日現在)